

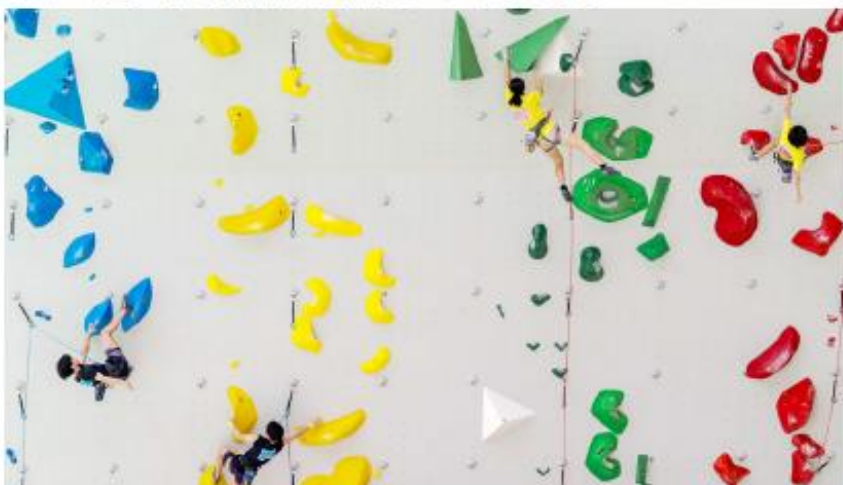
スポーツクライミング

じんこう かせ せつち とっ き ぶつ
人口壁に設置されたカラフルなホールド(突起物)を
からだ ひと て あし たく つか のぼ きようざ
身体一つで手や足を巧みに使って登る競技です。

競技紹介

見所

- 高さ(たか)を競う「リード」と登れた課題数(しゅくすう)を競う「ボルダー」の2種目(しゅむく)があります。
- 通常(つうじょう)、個人戦(こじんせん)で実施(じっし)されますが、国スポ(こくスポ)は1チーム2人(にせんにん)のチーム戦(チームせん)となります。
- 普段(ふだん)はライバル(ライバル)同士の二人(ふたり)の選手(せんしゅ)がアドバイス(アドバイス)を送りあい(おくりあひ)、励まし(はげ)あって、壁(かべ)に挑む(いど)光景(こうけい)は国スポ(こくスポ)ならではの光景(こうけい)です。



競技のルールや見どころは **p. 4 ~** 参照！

日程・会場 10月3日(金)～10月5日(日)
[竜王町総合運動公園スポーツクライミング特設会場](#)
 (ドラゴンハット内)

プログラム詳細は **p. 3 ~** 参照！

一般観覧 **(可)** 事前予約不要／入場無料／入場整理券なし
 インターネット **LIVE配信・見逃し配信** も無料！ (主に決勝戦)

- ・競技の特性上、アドバイスとなるような声援はNGです。
- ・フラッシュ撮影禁止、撮影可能エリアを限定

おすすめ観光地

竜王町 **道の駅 アグリパーク竜王** みちのえき あぐりぱーく りゅうおう

いちご、さくらんぼ、桃、ぶどう、梨、柿などのフルーツのほか、さつま芋掘り体験や花の摘み取り体験ができる農業公園です。

また、動物と触れ合うことができる広場やグランドゴルフ、スワンボートなど様々なアクティビティも楽しめます。

〒526 蒲生郡竜王町山之上6526



滋賀県選手団

no	競技	種別	種目	役職	氏 名	勤務先・学校名・所属等	学年等	現 住 所
1	スポーツクライミング	成年男子	リード・ボルダー	監督	土谷 祐輝	京栄ニチュ株式会社		彦 根 市
2	スポーツクライミング	成年男子	リード・ボルダー	選手	亀山 凌平	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		彦 根 市
3	スポーツクライミング	成年男子	リード・ボルダー	選手	橋山 純乃介	大原簿記ビジネス公務員専門学校京都校	1年	彦 根 市
4	スポーツクライミング	成年女子	リード・ボルダー	監督	坪野 明日香	一般財団法人近畿健康管理センター		大 津 市
5	スポーツクライミング	成年女子	リード・ボルダー	選手	石井 未来	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		大 津 市
6	スポーツクライミング	成年女子	リード・ボルダー	選手	張替 夢乃	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		大 津 市
7	スポーツクライミング	少年男子	リード・ボルダー	監督	喜多 織人	KO-WALL		草 津 市
8	スポーツクライミング	少年男子	リード・ボルダー	選手	林 駿真	滋賀県立瀬田工業高等学校	2年	大 津 市
9	スポーツクライミング	少年男子	リード・ボルダー	選手	山本 悠仁	滋賀県立瀬田工業高等学校	2年	草 津 市
10	スポーツクライミング	少年女子	リード・ボルダー	監督	橋山 武志	ブリヂストンプラントエンジニアリング株式会社		彦 根 市
11	スポーツクライミング	少年女子	リード・ボルダー	選手	稲田 和華	滋賀県立草津東高等学校	2年	大 津 市
12	スポーツクライミング	少年女子	リード・ボルダー	選手	村田 柚	滋賀県立彦根翔西館高等学校	3年	長 浜 市

見どころ

● <リード競技>

高さ12m以上、幅3m以上のクライミングウォール（人工壁）に設定されたルートを上り、所定の時間内に到達した**高さで順位を決めます**。

選手全員が、競技前に6分間だけルートを観察する「オブザベーション（下見）」を行い、その間にどう攻略するかを考えます。

● <ボルダー競技>

クライミングウォールに設定された4つの**課題をいくつ「完登」できるかを競います**。課題ごとに様々な動きが要求され、瞬時の判断力と対応力が求められます。

仲間同士で相談したり、先に登った選手がアドバイスしたりすることができます。

● <滋賀県選手団>

成年女子の**石井未来選手&張替夢乃選手ペア**は、昨年の佐賀国スポのボルダーで優勝！今大会ではリード・ボルダー両種目での頂点を狙っています！

● <兄弟出場>

成年男子の**緒方良行選手・緒方万佐也選手**（ともに福岡県）は初めての兄弟参加。普段は個人戦のスポーツクライミングですが、国スポでは2人1組になり協力し合うチーム戦。エリート兄弟チームの成績の連携プレーはいかに？！

滋賀県広報課の注目ポイント

- [国スポチャンネル](#)でLIVE配信される 10/5(日)の「リード」種目 決勝戦では、滋賀を拠点に活動する現役日本代表クライマーの**小武芽生**選手が解説者として出演！2024ワールドカップでの金メダルをはじめ多くの世界大会でメダルを獲得しているトップ選手ならではの目線での解説もぜひお楽しみください♪

競 技 日 程

竜王町

競技役員全体会議	10月2日(木) 13時10分～13時30分	竜王町総合運動公園 スポーツクライミング特設会場
監督会議	10月2日(木) 17時20分～17時40分	亀山市文化会館

	前 日	第1日目	第2日目	第3日目
	10月2日(木)	10月3日(金)	10月4日(土)	10月5日(日)
成年男子	選手・監督受付 16:00～16:50 亀山市文化会館 大会会長 トロフィー返還式 17:00～17:15 ・ 監督会議 17:20～17:40 亀山市文化会館	ボルダー競技(B) 予 選 9:00～11:33 ボルダー競技(B) 決 勝 17:10～18:20	リード競技(L) 予 選 11:30～16:46	リード競技(L) 決 勝 9:50～10:40
成年女子		ボルダー競技(B) 予 選 13:10～15:43	リード競技(L) 予 選 11:30～16:46	ボルダー競技(B) 決 勝 10:50～12:00 リード競技(L) 決 勝 14:50～15:40
少年男子		リード競技(L) 予 選 11:30～16:46	ボルダー競技(B) 予 選 13:10～15:43	リード競技(L) 決 勝 8:50～9:40 ボルダー競技(B) 決 勝 13:50～15:00
少年女子		リード競技(L) 予 選 11:30～16:35	ボルダー競技(B) 予 選 9:00～11:27 ボルダー競技(B) 決 勝 17:10～18:20	リード競技(L) 決 勝 15:50～16:40

総合成績計算委員会	10月5日(日) 16時40分～16時50分	竜王町総合運動公園 スポーツクライミング特設会場
総合表彰式	10月5日(日) 17時30分～18時00分	竜王町総合運動公園 スポーツクライミング特設会場

競技の見方

スポーツクライミング競技会は、2名で1チームの団体競技です。競技は「リード競技」と「ボルダー競技」の2種目があり、2名がそれぞれ2種目を競技し、種目ごとにチーム順位をつけて競います。

リード競技



●競技概要

高さ12m以上、幅3m以上のクライミングウォール（人工壁）にルートセッターにより設定されたルートを登り、所定の時間内に到達した高さで順位が決まります。ルートを作成するために使用するホールド数は最大55～60個ほどで、途中の支点にロープをかけ安全を確保しながら登り、トップホールドに到達して最後の支点にロープをかけると「完登」となります。持久力が勝敗を分けるため、疲労をためない効率的な動きが結果を左右します。

●競技の進め方

選手全員が、競技の前に6分間だけルートを観察する「オブザベーション（下見）」を行います。その間にどう攻略するか考えなければなりません。予選においては、他の選手の登りを見ることや、予め撮影したデモンストレーションビデオを見ることができフラッシュ方式が採用されています。決勝においては、他の選手の登りを見ることや外部との連絡によって情報を得ることは一切できないオンサイト方式で本番を待ちます。制限時間（6分）の間にスタートホールドから、トップホールド（終了点のホールド）まで登り、最後の支点にロープをかければ「完登」となります。途中で落下した場合は、その到達高度で終了となります。

●順位の決定方法

それぞれの選手の到達高度から個人順位を算出し、2名の個人順位を相乗し、その値が小さいチームが上位となります。

クライミング用語の解説

- ◇「ルートセッター」ウォールにホールドを取付、選手が登るルートを作成する人を指します。
- ◇「ホールド」壁から突起した手掛かり、足掛かりとなるもの。色や形も多種多様。持ちやすいもの、持ちづらいものがあり、これで課題の難しさを演出します。
- ◇「ハーネス」ロープを結ぶ安全ベルトのこと。
- ◇「課題」人工壁にホールドで構成された登るためのコースのこと。
- ◇「グレード」課題の難易度。ボルダーにおいて日本では主に段級位制が使われ、初級者の方は8～7級からで数が減ることで難易度が上がります。1級の次は初段、二段と段数が増えていきます。リードでは11, 12, 13...と数字が大きくなると難しくなり、更に数字にa～dが付く11aよりも11dの方が難易度が高くなります。
- ◇「フラッシュ方式」下見をしたうえで登ること。
- ◇「オンサイト方式」初めて見たコースを一度で完登すること。

ボルダー競技



●競技概要

ボルダー競技は、高さ5 m以下、幅6 m程度のクライミングウォール2基（壁の傾斜や形状が異なる4面）の壁に取り付けられたホールドで構成される4つの課題をいくつ「完登」できるかを競います。リードクライミング競技（リード競技）と異なりロープを使わないので、地面には落下時の衝撃を緩衝するマットを敷いて競技を行います。

●競技の進め方

国スポでは1チーム2人1組で行います。中央から左に1基2課題、右に1基2課題が設定されており、2名の選手は、制限時間（5分間）の中でまず左側2課題を登ります。休憩を挟んで右側の2基目の2課題を同様に5分間で登ります。スタートホールドは、それぞれの課題によって異なる配置となっており、4点支持（四肢）によってスタートを切ります。トップホールドに両手で触れて姿勢を安定させれば「完登」となります。

●順位の決定方法

スタートのホールドから、終了点のホールドを両手で保持出来れば「完登」となります。完登が出来なくても、途中に設定してあるゾーンポイントのホールドを保持することによってゾーンポイントを得ることが出来ます。制限時間内であれば、途中で落ちて何度でも挑むこと（アテンプトすること）が出来ますが、同じ完登でもアテンプト数が少ないほど優位になります。チームの選手2名が4つの課題を登り、獲得した「完登数」「ゾーンポイント数」で順位が決まります。2名の個人順位を相乗し、その値が小さいチームが上位となります。

●特徴

ボルダー競技は、課題ごとに様々な動きが要求され、選手は瞬時の判断力と対応力が求められます。また、チームの選手同士で相談したり、登った選手がアドバイスすることもできるため、チーム力も必要になります。